

# 福井



〒684-0404  
海士町大字福井412  
TEL 08514-2-0750  
FAX 08514-2-0790

## 一学期を終えて 校長 谷口 彰

【はじめに】

いつの間にか梅雨が明け、いつの間にか一学期の終わりを迎えた感があります。終業式の機会に、今学期のいろいろな場面での様々な「顔」を思い浮かべてみました。子ども達の顔は、懸命な表情と笑顔が多いです。福井っ子らしく、先生の言うことをよく聞き頑張りました。保護者の皆さんは、温かい笑顔です。変わらぬ温かいご協力を頂きました。教職員の顔は、どちらかと言うと厳しい表情です。様々な課題に対して、よく奮闘努力していました。子どもも大人もよい表情が多かったことに感謝したいです。保護者や地域の方々のご理解と多大なご支援のおかげで、子ども達が全員元気に無事一学期を終えることができました。有難うございました。

以下、めがず児童像から福井小学校の一学期の生活を振り返ってみたいと思います。

【めがず児童像からの振り返り】

① 思いやりのある子（徳育）

感情表現をしっかりと行うことで、情緒が安定すると、セルフコントロールが可能になります。セルフコントロールが上手になると対人関係に余裕が生まれ、相手への思いやりが生まれます。そのような対人関係の第一歩が挨拶です。多くの子ども達が挨拶を、意識的に頑張ることができました。あわせて、返事の取り組みも少しずつ定着しつつあります。

一方、相手を傷つけてしまう乱暴な言動も時々ありました。これは子ども達の世界で、ある程度は必要な範囲内であり指導のチャンスと捉えています。間違っ、いじめにならぬようしっかりと見ていくことを職員で共通理解してきました。

② 進んで学ぶ子（知育）：自分の考えを持ち表現できること。（重点）  
昨年まで校内研究をベースに、今

年度は、特に人前で自分の考えを表現できる子どもをめがずしました。まずは、子ども達が人前で表現できる場や機会を出来るだけ設定することを確認し実践しています。

また、図書館活用教育で培った情報活用能力の育成や読書活動の推進を勧めることで、引き続き「進んで調べ学ぶ力の育成」を目指しています。図書館利用については、概ね進んで活用することが出来ていますが、家庭学習についてはどうでしょうか？学校外での様子が気になる所です。

③ 強くたくましい子（体育）：体を

使ってしっかりと遊べること。（重点）  
依然、外で元気よく遊ぶ姿が見られますが、その数はやや少なくなりつつあるように思われます。伝統でもある課外活動への取り組みは前向きであり、その成果も十分であったと考えています。女子の間で一輪車乗りがはやり、懸命に練習する姿が見られました。平衡感覚を鍛え、成

長期における脳へのよい刺激がありとてもいいことだと思えます。水泳の指導も、海水プールを活用して連日行いました。（裏面写真）

【まとめ】

前述しましたとおり、高学年を中心とした対外試合では見事な成績を上げることが出来、多くの方々から「福井の子はすごいですね！」という有難い言葉を頂きました。また、文部科学省から読書活動の優秀実践校として表彰されました。これらよい結果や評価については、素直に受け止め、学校の自信と財産にしていきたいと思えます。

一方、島根県の学力テストの結果は、頑張った学年や個人はありますが、学習課題が浮き彫りになりました。その結果をしっかりと分析し、二学期から対応策を講じていきたいと思えます。すべてのことが、これでよいということはありませんので、今後もしっかり子ども達の実態を見つめ、より具体的に取組んでいきたいと考えています。皆さまからの、変わらぬご理解とご支援の程お願いします。

最後に、これから長い休みに入ります。いろいろな行事や活動が予定されていますが、まずは子ども達の安全な暮らしを一番に願っています。始業式には真っ黒に日焼けした元気な顔が揃うことを楽しみにしています。どうか各ご家庭や地域で、ご指導と見守りの程よろしくお願い致します。



### 交通安全教室

## 自分で守る大切な命

七月十日、海士と知々井の各駐在所から警察官に来ていただき、交通安全教室を開催しました。低学年は横断歩道や道路の通行のしかたを、三、六年生は自転車の安全な乗り方を、実地に即して学びました。

島根県内では最近交通事故が多発しています。特に高齢者が事故に巻き込まれるケースが多いと聞きます。いわゆる「交通弱者」といわれる人が事故に遭わないよう、とにかく未然に防ぐしか方法はありません。

当日は気温が高かったにもかかわらず、子どもたちは真剣におまわりさんの話に耳を傾け、事故に遭わないための方法をしっかりと学びました。

海士町は人口約二千三百人で事故の遭遇率は本土ほど高くないかもしれませんが、油断は禁物です。基本的なルールをきちんと学んでおけば、成長するにつれてそれを状況に応用させていくことができます。そういう学びがとても大切です。自転車の乗り方については、とにかく保護者の皆様、我が子に対して厳しく指導してください。

### PTA救命救急講習会



七月十三日、海士出張所から三名の講師を招き、救命救急法を学びました。冒頭、今年から「心臓マッサージを重点的に行う」という方針になったことが藤田所長から説明されました。呼吸が停止している要救助者を発見した場合、正しい位置を救急車が到着するまでマッサージし続けて、自己呼吸の回復に努めます。また、複数で対応して、近くにAED（自動体外式除細動器）があれば、それをもってきてもらい、機械の指示に従って使用します。

参加した皆さんは終始真剣に、いざというときに備えて施術方法を繰り返し行いました。今回は夏休みのプール開放に向けてという趣旨で開催しましたが、普段からの心がけを大切にしたいと思います。



# 一学期に頑張ったこと

式表  
業代表発表  
終各学年代表発表

七月二十日、終業式で各学年の代表が、今学期頑張ったことを発表しました。一部抜粋して紹介します。

## 1がっきがんばったよ

一年 河内理仁

ぼくは、たいいくをがんばりました。あつかったけどがんばりました。

ぼくは、ここのひらがなもていねいにしようとなりました。1がっき、たのしかったです。

一年 片松 絢

ぼくは、マラソンをがんばりました。しんどくなくても、あきらめないで走りつづけました。

ぼくはしよしやもがんばりました。「が」「き」「し」「う」をきれいにしようとなんかいいれんしゅうしました。そうしたらきれいにりました。

一年 長谷川和輝

ぼくは、いちがっき、おべんきょうをがんばりました。いちばんがんばったことは、せいかつです。すぐあつかったです。でも、いっばいくさをとりました。がんばりました。



## ハッピー集会ができること

三年 長谷川琴音

三年生は、一学期係や日直の仕事が毎日できるよになんぼりました。みんなさいしよははりきってやっています。でも一学期の途中になると、日直の仕事などがだんだんできなくなってきました。だから、作戦を立てました。できなかつたらできるまで続ける作戦です。みんなが忘れずに日直を続けたら、ハッピー集会ができます。でも、一学期はできませんでした。最高は四日れんぞくでした。忘れずに日直ができた人もいたけど、忘れた人もいました。私はできました。日直の仕事ができるようにがんばりました。

二年 磯谷奈津子

わたしが一学期がんばったことはマラソン大会と日記をしようずに書いたことです。マラソン大会では、一ばんにすることをひひようになんぼりました。ほんぼんではぜつたいにいいなる気もちで走ったけど、つかは四いでした。とてもくやしかったです。こんどはいいになりたいです。

日記では、長くてくわしい日記を書きました。たくさん字を書くのがすきなで、これからはいいいな字を書くことをがんばりたいです。

二年 永海 舜也

ぼくが一学期がんばったことはマラソン大会です。一年生のときろくをぬくことを目ひようになんぼりました。走っているときはすぐきんちようしたけど、みんながうえんしてくれたので、ホッとして走れました。一いでゴールまで行けたし一年生のときろくもぬけたのでうれしかったです。

おわったあと、お母さんが「うしろを見ずに走ったら、もうちよつときろくがはやくなるよ」と教えてくれました。つぎの大会では、うしろをむかないようにして、またいいになりたいです。

## 間違いはこわくない!

四年 永海知夏

私が一学期がんばったことは、学習の時に発表をたくさんすることです。いつも恥ずかしがって、書いていないことや思っていることが言えません。ほかにも、「間違えたらどうしよう」などの気持ちもありました。そんなある時、遠足で行く場所を確かめるときにクイズをしました。先生や天皇陛下の誕生日を当てたりしました。その時に私は初めて発表して、間違えませんでした。そして思ったのが、「間違えても恥ずかしくない。だから発表をたくさんしよう」ということでした。

それから私は、発表をたくさんするよう心がけました。でもまだ書いていないことが言えないことがあります。次の目標は、「書いていうことは自分から進んで言う」ことです。全校の前で何か発表することも目標にします。

ぼくが一学期の算数の授業では、必ず100マス計算があります。ぼくはかけ算100マスがきらいでした。最後から二番目だったからです。ぼくはくやしくて家で練習したけど、三分を切ることはできませんでした。心の中で「えんぴつのはが折れるくらい速くしな」と思いました。

四年 井手上暖乃

私が頑張ったこと、一つ目はバスケット練習です。男女に分かれみんなで目標をしっかりと立て練習に取り組みました。

二つ目はマラソン大会です。絶対に負けたくないという気持ちで練習し、大会では自分のペースで全力で一先懸命走りました。六年女子二人に負けました。自分では悔いの残らない大会となりました。

三つ目のひまわり交流では、初回名前を覚えてもらい、二・三回はグループで遊び、四回目はおぼあきんやおじいさんが喜んでくれることや役に立つことをしました。手のマッサージ、キンニャモニャ体操を覚えてもらいました。たくさんのお年寄りとおふれあえて良かったです。一学期は何事にも一生懸命あきらめずに取り組んで良かったです。

## 一学期をふり返って

五年 井手上暖乃

ぼくが一学期頑張ったことは第十回校内マラソン大会です。理由は、これまでの四年間で完走したのが低学年の時だけだったからです。五年になって長い距離を走ったけど、高学年で三位、五年では一位で完走できました。ぼくがそこで一番頑張ったことは、一位の人についていくことでした。勇士君について行くつもりが、途中でペースを落としたので優希君に抜かれました。でも、どんなペースを落として龍太郎君に抜かれました。でも一位の人について行くことが目標なので、龍太郎君を抜き返しました。結局は三位でゴールしました。うれしかったです。

でも悪かったところが二つ。一つはペースを落として二人にも抜かれたことです。二つは優希君を抜いて油断したことです。「油断大敵」を大切にしたいなと思いました。

次は秋の町内マラソン大会です。海士小に負けず、ぼくのお姉ちゃんにも負けずに走りたいと思います。

## 責任感を大事に!

六年 小田川天馬

一学期に頑張ったことはバスケット大会です。理由はキャプテンになったからです。練習の初日はきんちようしてしつかりやれませんでした。その日ぼくの心の中で、「誰よりもキャプテンのぼくが頑張らないといけない」「手本にならないといけない」と思いました。そして、次の日の練習から声だしを心がけました。

でもなかなかできませんでした。少しずつ声が出せるようになりました。どんな声だしができてきたかというとき、チームを盛り上げる声、下級生へのアドバイスなどです。

大会では全員で頑張った優勝することができました。しかもアベック優勝です。なぜできたかといえば、やはり声を出したからだと思っています。試合中もみんな励まし合いました。練習中もできていたことが、本番でも出せたのです。

ぼくはアベック優勝がでるチームのキャプテンになれて本当に良かったです。今後はあいさつや発表などで、自分がお手本になれるように頑張ります。二学期は今まで以上に責任感をもつてみんなの手本になります。

前号同様、校報や福井小学校に対するご意見やご要望もお待ちしております。それが、長い休業に入りますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしております。



二学期の始業式は八月三十日木曜日です。お間違えなく!

## 編集後記

今月二日、午後からの職員会議中、ふと校庭の方から蝉の鳴き声が聞こえてきました。たった一匹でしたが、(おっ、鳴き出したぞ)とはつきり記憶しています。あれから半月の十七日、気象台から梅雨が明けたと見られると発表がありました。いよいよ今年の本格的な夏が到来しました。最終週、連日各教室は猛暑に見舞われながらも、子どもたちは集中して学習に取り組みました。

明日からの夏休み、昨年のように猛暑の夏となるのか、はたまたエルニーニョ現象の影響を受けて涼しい夏となるのか、なかなか予測が難しいです。電力不足が叫ばれる昨今、ちよつど良いほどよい暑さになってくれれば幸いです。

福井小 教頭 福間敏之  
メールアドレス  
fukui-es@town.ama.shimane.jp